

平成29年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）  
追跡評価結果

課題番号	20002001	研究期間	平成20年度～平成23年度
研究課題名	認知発達の霊長類的基盤		
研究代表者名	松沢 哲郎	研究期間終了時の所属・職	京都大学・霊長類研究所・教授
		現在の所属・職	京都大学・高等研究院・特別教授

**【評価意見】**

本研究はヒトとチンパンジーの認知機能を比較することで人間の認知機能の特性を進化的な基盤から解明することを目的としており、研究期間終了後も研究成果を生み出し、国内外への波及効果も極めて大きいと評価できる。

研究期間終了後も研究代表者らの研究は順調に進展しており、国際的な学術誌への論文発表数も極めて多く、また、それらは年々増加している。また、本プロジェクトの研究成果は国内外の進化心理学、霊長類学に留まらず、発達心理学、進化人類学、人間学分野からも注目され、研究者たちの論文引用件数も極めて多く、知見の普及という点で申し分ない。

本研究の研究成果は国内外に発信され、波及効果は大きい。一般市民向けにも研究代表者が全国各地の市民講座や子ども向けの授業等で研究成果の普及に努めている。また、研究成果がマスメディアにより紹介され、研究成果の社会還元は極めて順調である。さらに、研究に参加した若手研究者も順調にキャリアアップしている。

わが国の人文社会科学領域では類を見ない長期にわたる大規模研究であり、かつそれを常に前進、展開、発展させていることは高く評価できる。